



クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2021年4月14日

【円建て】マイクロローン事業者ファンド1号

償還時運用報告

(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

標記ファンドは、2020年8月27日に、別途「契約期間延長のお知らせ」にて配信させていただきましたとおり、運用期間を2021年1月末日まで延長させていただきました。また、2021年1月28日に、別途「契約期間再延長のお知らせ」にて配信させていただきましたとおり、運用期間を2022年1月末日まで延長させていただきました。そのうえで、償還を迎えましたので、以下のとおりご報告申し上げます。

出資金総額 : JPY 47,640,000.-
うち投資総金額 : JPY 45,877,320.-
うち運用手数料 : JPY 1,762,680.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日 : 2019年2月20日
グループ会社貸付金額 : JPY 45,877,320.-
グループ会社貸付期間 : 2019年2月20日から2020年8月25日
資金運用日数 : 552日
グループ会社貸付金利(年利) : 10.1%

===運用終了時の状況===

当月期実現グループ会社返済利息額 : JPY 74,902.-
累積実現グループ会社返済利息額 : JPY 9,264,054.-
当月期実現グループ会社返済元本額 : JPY 9,667,364.-
累積実現グループ会社返済元本額 : JPY 45,877,320.-
当月期実現元利金返済額 : JPY 9,742,266.-
累積実現元利金返済額 : JPY 55,141,374.-
当月期出資者返済原資 : JPY 9,742,266.-
累積出資者返済原資 : JPY 55,141,374.-
ファンドの実現利回り(税引き前) : 7.8%(期間:2019年2月20日~2021年3月31日)

募集時表面利回り（税引き前）：7.1%（期間：2019年2月20日～2020年8月31日）

===分配金及び償還金の概況===

分配金及び償還金の有無：あり
分配金及び償還金の金額：55,141,374 円
出資金1万円あたりの分配金及び償還金の金額：11,575 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

本ファンドの概要

本営業者たるクラウドクレジット・ファンディング合同会社が本件匿名組合契約に基づく出資金を本営業者グループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ、以下エストニアグループ会社）に貸付けたのち、エストニアグループ会社は以下の案件1および案件2を行いました。

（案件1）キプロスを拠点に事業を展開する金融事業者である IDF Holding Limited（以下「IDF 社」といいます）に貸付けを行いました。

（案件2）Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介して、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローンの購入を行いました。

運用終了時の状況

本ファンドは、運用期間を延長したうえで、当初の予定を上回る利回りで償還を迎えることとなりました。運用成績は全体で 7,501,374 円の利益（55,141,374 円－47,640,000 円）、ファンドの実現利回り 7.8%（出資金1万円あたり 1,575 円の利益）となりました。

IDF 社の状況および本営業者の対応

本営業者は IDF 社より、IDF 社グループが貸付事業を行うロシア、カザフスタンにおいて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を背景にそれぞれの国で民間の融資の返済について一定期間利払いを停止し、元本の返済期限を延期する政府令（モラトリアム施策）が出されたことを受け、IDF 社グループがバランスシートの手元流動性を確保するため、2020年4月期分配の原資となるローンの元本返済期限延期を希望する申し出を、2020年4月22日に受領しました。

各国のモラトリアム施策が IDF 社グループ傘下企業に与える影響について、IDF 社からの情報では、ロシアにおいては比較的軽微に留まる一方、カザフスタンでは 2020年6月15日にモラトリアム施策が終了したもののその適用申請者がロシアと比べて広範に及ぶこと、また、2020年7月下旬から8月17日にかけて主要都市で二度目のロックダウン（都市封鎖）が行われたことが、IDF 社による貸付資金の回収に影響を与えました。IDF 社は手元資金をより厚めに備えるため、マイクロローン事業者ファンドシリーズの 2020年9月期までの分配の原資となるエストニアグループ会社への返済について、本営業者に対し 2020年4月期と同様に元本返済期間延長の申し出を行いました。

かかる申し出を受け、本営業者は上記2か国の政府令の影響や貸付の回収状況を確認のうえ、2020年

4月期から9月期に当初満期日を迎えた本ファンドシリーズのファンドについて、最長6か月間の延長を行いました。2020年10月期については当初の期日通りに返済する旨IDF社が同意し、2020年10月27日に、エストニアグループ会社に約定通りの返済資金が着金しました。しかしながら、2020年10月期に当初満期日を迎えたファンドについても、後述する分配方針の変更を踏まえて延長を行いました。

その後も、エストニアグループ会社がIDF社より返済を受け、かかる資金をもとにエストニアグループ会社が本営業者へ返済を行う都度、本営業者は変更後の方針に沿って分配金額を決定しています。また、その結果、当初満期日または延長後の満期日までに全額償還できないファンドについては、延長を行っています。

本営業者による分配方針の変更

2020年10月期において本営業者は、匿名組合契約に基づく分配の方法を変更し、本営業者が正常先とする貸付先に融資を行い、かつ、合同運用を行うファンドシリーズのうち、延長中のファンドを含むものについては、平等性の観点から、すでに延長中かつ延長後の経過期間が長いファンドから順次分配を行うべきと判断いたしました。

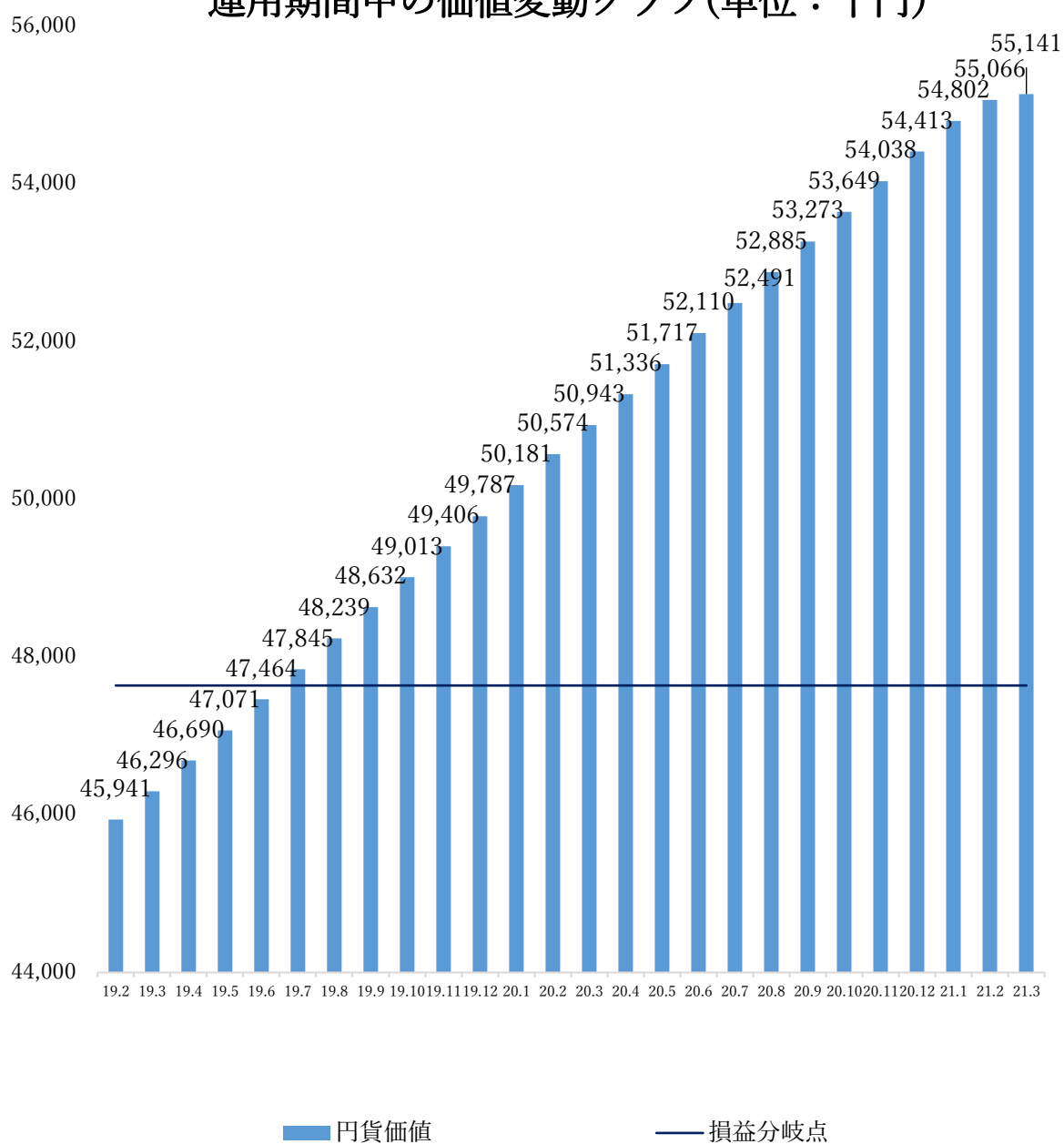
かかる判断を踏まえ、今月期においては、エストニアグループ会社がIDF社より2021年3月期分として受領した返済資金を原資として、本ファンドシリーズで運用中のファンドのうち最も延長後の経過期間が長いもののうちのひとつである本ファンドの分配を実施いたします。

なお、今後も本ファンドシリーズにおいては、延長後の経過期間が長いファンドから優先して分配を行います。そして、延長中のファンドがすべて償還した後は、上記分配方針の変更以前と同様に、当初満期日を迎えたファンドの分配を順次行います。

なお、本ファンドの出資金は、金融商品取引業等に関する内閣府令第125条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、本営業者の固有財産その他本営業者の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行いました。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも当社ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

運用期間中の価値変動グラフ(単位：千円)



会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2019年12月末現在・単位：千円)	1,000	14,200,155	14,216,618	△ 16,463	1,613,009	153	1,686	1,595
Crowdcredit Estonia OÜ (2019年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	107,705,989	107,010,899	695,090	12,111,621	△ 96,965	△ 78,891	△ 78,891
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2019年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,823,103	16,459,280	363,823	1,847,141	△ 380,421	△ 405,361	△ 389,671

※ 会計期間(2019年1月1日から2019年12月31日まで)の金額を記載しております。